



PALUCCA SCHULE DRESDEN
Dance Performance

パルッカ・シューレ・ドレスデン ダンス公演

2005年5月19日(木) 19:00開演(18:30開場) / 京都芸術劇場 春秋座(京都造形芸術大学内) / 入場無料

□主催：京都造形芸術大学 映像・舞台芸術学科 □後援：京都新聞社

□お問合せ：京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター 〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山2-116 phone: 075-791-9437 facsimile: 075-791-9438 e-mail: info@k-pac.org <http://www.k-pac.org/>



©Fotostudio Muenzberg

パルッカ・シューレ・ドレスデン ダンス公演

PALUCCA SCHULE DRESDEN Dance Performance

2005年<日本におけるドイツ年>——その一環として、このたび初来日するパルッカ・シューレ・ドレスデンの学生によるダンス公演を開催します。

ドイツ表現主義舞踊の創始者ともいえるマリー・ヴィグマンに始まり、グレド・パルッカ、ドーレ・ホイヤーといった戦前から活躍した振付家・ダンサーによる振付作品から新作まで、若さあふれる学生たちが幅広いプログラムを上演します。

■プログラム

- ・「セレナータ」(イザーク・アルベニス作曲) 振付:グレド・パルッカ(1932)
- ・「テストパターン・地虫達」(ジャン・マルク・ツェルワ作曲) 振付:アンケ・グラゾウ
- ・「王様と民」(エリック・サティ作曲) 振付:ハンネ・ワンドケ
- ・「アフェクトス・フマノス(人間の感情)」(ディミトリ・ウイアトウィッチ作曲) 振付:ドーレ・ホイヤー(1962)
- ・「オーバーランド(陸路)」(アントニオ・ヴィバルディ作曲) 振付:アリアネ・タールハイム / ノラ・ショット
- ・「魔女の踊り」(ボリス・ベル作曲) 振付:マリー・ウィグマン(1926)
- ・「キース」(キース・ジャレット作曲) 振付:ビルギット・シェルツァ

【パルッカ・シューレ・ドレスデン】

PALUCCA SCHULE DRESDEN

パルッカ・シューレ・ドレスデンはドイツで唯一のダンスの単科大学として、ザクセン州の認可を受けており、ダンス、振付、教育学などの学士課程を取得することができます。1925年、ドイツ表現主義舞踊の母とも呼ぶべきマリー・ヴィグマンの弟子であったグレト・パルッカ(1902~1993)により創立されました。旧ソ連の影響を強く受けながらも、クラシック中心のカリキュラムには反対し、自由なダンスを教え続け、優秀な舞踊家だけでなく様々なダンスに関わる人材を輩出し続けています。



Website <http://www.palucca-schule-dresden.de/>

日時:2005年5月19日(木)19:00開演(18:30開場)

会場:京都芸術劇場 春秋座(京都造形芸術大学内)

入場料:無料

※入場整理券は発行いたしません。当日、会場へ直接お越しください。※未就学児童のご入場はお断りいたします。

■アクセス

◇JR「京都」駅、阪急「三条」駅、阪急「河原町」駅から
→京都市バス5番「岩倉」行き乗車、
「上終町・京都造形芸大前」下車(京都駅から約50分)

◇市営地下鉄「丸太町」「北大路」駅から
→京都市バス204循環に乗車、
「上終町・京都造形芸大前」下車(約15分)

◇京阪電鉄「出町柳」駅から
→叡山電鉄に乗り換え、「茶山」駅下車、徒歩10分
→タクシーで10分

※駐車場はございません。車・バイクでのご来場はご遠慮ください。



お問合せ:京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター

〒606-8271 京都市左区北白川瓜生山2-116

phone: 075-791-9437 facsimile: 075-791-9438

e-mail: info@k-pac.org <http://www.k-pac.org/>

□主催:京都造形芸術大学 映像・舞台芸術学科

□後援:京都新聞社

□協力:ザクセン州経済振興公社(有) (WFS) www.business-in-saxony.jp

ザクセン州経済・労働省 (SMWA) www.smwa.sachsen.de

ザクセン州独自協会 (DJGS) www.djgs.de

